



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690  
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169  
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117  
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成26年 10月1日 発行

## 開学20周年記念事業

2・3面

待望の学生会館「MELF」(メルフ)が完成

改装の学生食堂「弥彦」もグランドオープン

学生プロジェクト支援事業・東北でボランティア活動

6面

〈紅翔祭〉10/11(土)12(日)

文化講演会に弁護士の住田 裕子氏

編集部では表紙を飾る写真を募集しています!投稿方法は [nuischannel@nuis.ac.jp](mailto:nuischannel@nuis.ac.jp) までお問い合わせください。次回テーマは「新春」

## CONTENTS

2・3面

9月卒業式4人の門出を祝福  
平成27年度入試日程  
(推薦・帰国生・  
社会人・外国人留学生)

4・5面

「外国語スピーチ  
コンテスト」で大活躍  
「現場」で研修、厳しさを自覚  
学外実習・インターンシップ  
教員の活動

6・7面

ズームアップ研究室  
異文化塾で本学OBが講師に  
新任教員紹介  
湧源・編集後記に代えて

8面

紅翔祭 10/11・12案内特集  
お笑いライブ  
みずき会餅つき大会  
入試相談会  
みずき野西自治会文化祭



NUIS公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/nuis.face>

NUISスクールアプリ開設しました

iPhone・iPad・Androidスマートフォン・タブレット向け  
App StoreまたはGoogle Playストアから新潟国際情報大学で検索  
アプリをダウンロードしてご利用ください。

LINE@  
@nuis-line3111

はじめました。

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

# 名称は「MELF」(メルフ) 公募で決まる

## 新しい「いなぐ」「語らぐ」の施設に

3年にわたって展開されてきた開学20周年記念事業が、計画通り今年度で一通り完了となりました。これまで記念式典をはじめ、公開シンポジウムや講演会、同窓生を迎えるホームカミング、起業支援プロジェクトなどを行ってきましたが、最大の事業だった待望の「学生会館」がこのほど完成し、9月19日に竣工式と開館式が行われました。

新しい会館の名称は広く学生から公募し、国際学部国際文化学科1年木下晴香さんの「making everlasting friends」「MELF」(メルフ)に決定し、竣工式で披露されました。

竣工式は同日正午から会館ホールで行われました。星野理事長、平山学長ら大学関係者と工事関係者、学友会と同窓会(みずき会)代表、地元自治会長など多数が参列し、神事に続きテープカットが正面入り口で行われました。星野理事長



は「人と人との触れ合いはやはりface to faceが基本。学生同士だけでなく近隣の方々などさまざまな人々と気軽に話し合える場になってほしい」と挨拶。また平山学長も「会館名は永遠の友をここでつくろうとの意味が込められている。在学生だけでなくOBや地域の人々にも愛される大学のシンボルの施設になってほしい」と念願の事業の完成を祝いました。

まず平山学長が「ホール1階は開閉式の大きな窓ガラスで外との一体感が出る造りになっています。どうぞ、心の扉も開いて、永久の友」としてつながって、この学生会館を心のよりどころとして大いに活用してほしい」と挨拶をしました。続いて、学生代表として情報文化学科4年の大沼竜二学友会長が「素晴らしい学生会館が出来上がり大変うれし。イベントの開催など最大限活用していきます」

生、学生と教職員、大学と社会(地域と世界)を「つながる場」として、勉学や課外活動や語らいのキャンパスライフの拠点として誕生しました。

### 晴れやかに開館式

#### 部室のカギを引き渡し

午後には1階ホールに約150人の学生、教職員が集まり、開館式も行われました。

「MELF」の命名者となった木下さんが、「一生失わない友情をMELFでつくっていききたい」と元気よく音頭を取り「乾杯!」の大きな声がホールに響きました。軽音楽部と吹奏楽部の演奏が行われ、参加者は飲み物を手に互いに開館を祝い合い、会場は大いに盛り上がりました。

最後に情報システム学科上西園学生部長(館長)から公認団体の代表へ部室の鍵の引き渡しが行われ、早速、学生たちは真新しい部室などを利用していました。

### 9月19日に竣工式

1階のメイン施設は学生の活動や相談の窓口となる学生支援センター。多目的に利用できるセミナールームや学友会室があります。2階には音楽系スタジオや学術・文化系の公認団体の部室、PCコーナーを備えています。1、2階とも中央部にオープンスペースの学生ラウンジがあり、サークルやゼミや友達との会合に利用できます。お盆と年末年始以外は土・日・祝日も開館しています。

## 気を引き締めて巣立つ 9月卒業式



式典には、星野理事長をはじめ白井情報文化学部、佐々木国際学部の両学部長ら関係教職員が出席し、温かい拍手で4人の門出を祝福しました。卒業生はあらためて気を引き締め、それぞれの目標に希望を抱き巣立っていきましました。

本年度の9月卒業式が9月18日、本校大会議室で行われ、社会人学生1人を含む4人(情報文化学科1人、情報システム学科3人)が平山征夫学長から学位記を授与されました。

学長は式辞で「大学で学んだこと、得たことをより深く考え、これからの人生において生かしてほしい。また今後はOBとして本学とのつながりも大事にしてほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

# 待望の「学生会館」が完成

学生食堂「弥彦」を増築して、落ち着いた雰囲気  
の「カフェ」風にリニューアルする工事も完了し、このほどグランドオープンしました。テーブルや椅子を新しく取り替え、座席を約500席に増やし、厨房設備を効率的に一体化して、多くのメニューに対応できるようにサービスを向上し、昼食時の一時的な混雑も解消することができました。

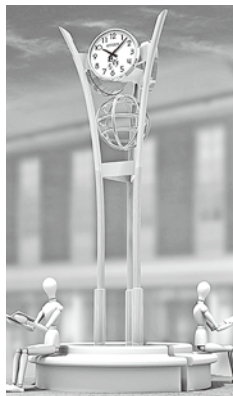
今年度からサビスの一環として、「キャンパス・プリペイドカード」(IC

## 学生食堂もグランドオープン ゆったり快適 カフェの雰囲気に一新

食券カードが導入され、カード利用者には割引価格が適用されています。学生食堂は食事だけでなく、語り合ったり学習したりして1日を有効に過ごす大切な場所でもあり、デザインも一新し快適に過ごせる環境が整いました。学生会館「MELF」と学生ホール、学生玄関とも新しい連絡路で結ばれ、多様なキャンパスライフを楽しめるようになりました。



## 時計台



## みずき会から寄贈 紅翔祭にお披露目

「みずき会」(同窓会)からも開学20周年を記念して時計台が寄贈されました。高さ約5mで、3方向に「みずき会」のロゴが付いた時計があり、正面玄関ロタリーの芝生部分に設置されます。

心には地球儀もデザインされていて、国際化を象徴した素敵なモニュメントです。この時計台は、10月11日の紅翔祭に合わせお披露目される予定です。

## 平成27年度 推薦・帰国生・社会人・留学生入試日程

入試区分		出願期間(消印有効)	試験日	試験実施教科・科目
推薦入学試験	指定校制※1			
	I期 公募制(教科成績重視型)	26年11月 1日(土)	26年 11月16日(日)	面接・小論文
	公募制(資格・検定重視型)	11月10日(月)		
	公募制(スポーツ推薦)			
	II期 公募制(教科成績重視型)	26年12月 1日(月)	26年 12月21日(日)	面接・小論文
	公募制(資格・検定重視型)	12月16日(火)		
帰国生入学試験		26年11月 1日(土)	26年 11月16日(日)	面接・小論文
社会人入学試験		11月10日(月)		
外国人留学生入学試験				

※1 本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。 ◎詳細は本学学生募集要項でご確認ください。

募集学科

国際学部

情報文化学部

入学時の奨学金

高校長推薦(指定・公募) 入学試験合格者

合格後に希望者に対し、2月2日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。

TEL 025-264-3777

E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

# 「外国語スピーチコンテスト」で大活躍

## ロシア語

情報文化学科4年

荒木 円花

新潟市の「クロスパルにいがた」で6月28日に開催された「第14回新潟・ロシア語スピーチコンテスト」に出場し、3回目となった今年は一般（上級）の部に挑戦し、優勝することができました。

「БСПЕЧИ-ЧУДЕСА（出会いは奇跡）」という題で、2年次の派遣留学先で私たちのロシア語の先生をしていた友人から教わった、人生における出会い、縁の尊さについて話しました。

た。

日本人とロシア人の「縁」に対する感覚の違いを客観的に理解するために、チェーホフの詩や小説、ことわざ辞典を読みあさったり、彼女にインタビューしたりしました。双方の考え方

しかし、発音や質疑応答などの課題を先生方に丁寧に指導していただき、コンテストに向けて頑張る後輩たちの姿にも刺激を受け、仲間の応援のおかげで苦難を乗り越えることができました。同じ部門には自分より学習

## 3回目の挑戦、上級の部で優勝

### 出会いと縁に感謝 最高の達成感

や伝え方の違いを発見できましたが、自分の伝えたい思いをロシア人に理解してもらうのに苦労したり、発音が直せなかったり、苦しいことが多くありました。

・留学歴の長い方ばかりで、くじけそうになりましたが、最後まで気持ちを込めてスピーチができ、今まで一番達成感がありました。ロシア語を通して多くの出会

## 中国語

情報文化学科3年

二平 太秀哉

第13回「漢語橋」新潟大会（5月17日）に参加、自分と中国語との関わりについて5分

程度のスピーチを行いました。區建英教授から自分の能力を発揮する良い機会との誘いを受けてチャレンジ、「アーファンティ」の芝居を披露して「優れた表現賞」をいただき、中国長沙での夏キャンプに参加することができました。

「アーファンティ」は中国、新疆の伝説の人物で、さながら一人

人物です。中国語の授業の口述試験では、その「アーファンティ」の芝居を班に分かれて行っていたため、非常に思い入れが強かったのです。スピーチは、自分の中国語学習の方法から、以前中国人留学生が我が家にホ

ましたが、やれば意外とできるもので、原稿を読むたび徐々に最後には完全に暗唱できるようになりました。「アーファンティ」の芝居もさまざまな方々から絶賛していただき、当日の晩餐会では完全にアーファンティ

## 「漢語橋」大会で優れた表現賞

### 長沙で夏キャンプ、そして留学へ

ームステイしたときの交流などについて話しをしました。

最初は、これほどの量の文章を一人で暗唱できるのかと不安でした。2年の時には派遣留学をしていなかったのですが、他の参加者に劣るのではないかと思

の人でした。7月24日から2週間の夏キャンプでは、世界の「漢語橋」大会で夏キャンプ参加権を獲得した仲間が集まり、多くの外国人と交流することができました。まさに「人種のるつぼ」で、中国

語を使って会話するため、中国語の学習になっただけでなく、世界の言語をそれぞれ現地のネイティブから教えてもらったり、逆に日本語を教えたりと、非常に有意義な経験となりました。また、孔子学院奨学金もいただき、9月から北京師範大学に1年留学することになりました。この機会を生かし中国語を学ぶだけでなく、たくさんの友達をつくりたいと思います。



いがあり、すてきな方との縁に恵まれ、大変うれしいです。受賞できたのも、こうした縁のおかげだと感じています。副賞として再び留学できることに感謝し、ロシア人のように出会いを大切に、縁を生かし続けるとともに、これから新しい道を歩むうえでロシア語を、自分自身を成長させる一つの武器・糧にしていきたいと思っています。

「サハリン（樺太）島における戦争と境界変動の現代史」研究会（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

石川 洋(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

・(2014年6月21日)「Interpreting Implicit VDM Specifications using ProB」The 12th Overture Workshop on VDM (Newcastle University, UK)

### 3) 競争的資金獲得研究

谷本 和明(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2014年7月～2015年3月) 経済産業省（NEPC）栗島スマートコミュニティFS事業「栗島における再生可能エネルギーによるスマートコミュニティ構築可能性調査」研究責任者

内田 亨(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2014年4月～2017年3月) 平成26年度科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究

「組織における成員の幸福と業績を両立させるモデル構築とそのメカニズムの研究」研究代表者 ※国際・情報63号の「新潟市民のソーシャルネットワーク構造の決定」を削除

### 4) 委員・社会的活動・記事・その他

越智 敏夫(国際学部 国際文化学科・教授)

・(2014年7月13日) Noism代表金森様氏らとの公開座談会「柳都会DX」参加（りゅーとびあ）

谷本 和明(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2013年11月～) 新潟県海洋エネルギー研究会会長

小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2014年7月5日)「情報、再考！」JABEE修了生・卒業生交流会（東京地区）

・(2014年7月28日) 新潟市西川図書館協議会出席（新潟市）

## インターンシップ

2週間のインターンシップでラジオ局を実習先として選んだ理由は、中学時代から夕方の音楽番組をよく聞いていて、大受験の時もラジオを聞きながら勉強していたので、どのようにしてラジオ番組が作られるのか以前から気になっていたからです。

リスナーとしてラジオを聞いて楽しむ立場から、実際に番組を作る側になれることがとても楽しみです。

私が担当した仕事は、CDの整理、登録と番組のアシスタントディレクター(A D)が主な内容

### (株)エフエムラジオ新潟

でした。ラジオ局には、約4万枚のCDが保管されていて、さらに、毎週、山のように新しいCDが届くので、限られた時間の中でそれらを整理してデータベース化する作業は、予想以上に大変でした。

また、A Dの仕事では、2、3時間の番組中にメールやFAXで局に送られてくるリスナーからのメッセージをまとめ、パソナリティーが読みやすいよう文章にマーカールを入れる作業を行いました。

仕事をしながら「この番組を聞いて元気をもら

## リスナーに勇気づけられ

いました!」「私も新しいことに挑戦してみたいと思います!」といったリスナーからの前向きな言葉を読み、こちらまで勇気づけられました。

このように、パソナリティーや番組制作者の

### 情報文化学科3年 木嶋 建太

ただ単にラジオを楽しむだけでなく、今回のインターンシップを通して、ラジオの本当の「良さ」を知ることができ、大変貴重な経験となりました。



熱意と思いやりがリスナーを勇気づけ、そして、たくさんの方のリスナーがいることでラジオ番組は支えられ、互いにラジオに対する想いがあるからこそ、良い番組ができるという感じが分かります。

## 学外実習

9月1日から1週間、学外実習に行ってきた。新聞がどのように作られ、人々の元に届くのかという点に興味を持ち、新潟日報社を選びました。

実習では記事を書いて新聞を作るための編集局のみならず、広告部や編集部、企画事業部、販売部、読者ふれあいセンター、デジタル戦略室などの説明を聞かせていただきました。そして実際に印刷工場の見学、取材同行、報道写真研修などをさせていただきました。

新聞社といえば報道部がメインであり、情報が

### (株)新潟日報社

発信することばかり注目されているように感じていました。しかし、今回の実習でその認識は大きく変わりました。企画事業部では、県内のスポーツ、文化を振興するため企画を考へると知り、情報を発信することだけでなく県民の文化的な生活を支える仕事もするのだと非常に驚きました。

印刷工場見学では、報道写真の色味のみならず、広告として掲載されているイラストの色味にも配慮し、肉眼で何度も確認する作業があり、読み手強く意識してよりよい新聞を届けようという

## 県民の生活に深く関わる



う姿勢に感銘を受けました。

印刷工場見学のあと、販売店の方と同行してタ

### 情報システム学科3年 高野 江里

刊配達をさせていただきました。出来上がったものを配ってくださる方など、さまざまな方々の協力があるからこそ新聞が成り立つものであると学びました。

このように新潟日報社は記事を書くことだけでなく、県民の生活に深く関わり、読み手を強く意識して情報を届けているということが分かり、非常に勉強になりました。

今回の実習で社会の現場の一端を知ることができ、これからの就職活動に必ず役立つと確信しています。

# 「現場」で研修、社会の厳しき自覚

### 受入企業・団体・官庁名 (順不同)

おおやまメディカル(株) アクシアルリテイリング(株) (株)ホテル新潟

イワツキ(株) (株)ウオロク (株)エフエムラジオ新潟

片山食品(株) (株)広報しえん 済生会新潟第二病院 (株)新潟グランドホテル (株)新潟農協電算センター

新潟市役所 新潟商工会議所 新潟総合警備保障(株) (株)新潟総合テレビ (株)東映ホテルチェーン

株新潟日報社 (株)博進堂 (株)BSNアイネット 藤田金属(株) (株)北越銀行

(株)イタリア軒 (株)ホテルオークラ新潟 ほてる大橋館の湯 ホテル朱鷺メッセ(株) (株)リクルートキャリア

## 教員の活動 (本人申告による)

### 1) 研究論文・図書

- 小林 満男(情報文化学科 情報システム学科・教授)  
・(2014年)「新潟国際情報大学における情報システム教育改善の取り組み」『情報処理』55巻9号(1008-1011頁)
- 小山田 紀子(国際学部 国際文化学科・教授)  
・(2014年)「アルジェリアにおける植民地支配の構造と展開—フランスの土地政策と農村社会の変容—」津田塾大学大学院国際関係学研究所(博士論文)(総頁数300頁)  
・(2014年)「アルジェリア史研究を振り返って」『日本・アルジェリア友好の歩み—外交関係樹立50周年記念誌—』千倉書房(271-277頁)
- 白井 健二(情報文化学科 情報システム学科・教授)  
・(2014年)「Application of an autonomous distributed system to the production process,」

International Journal of Innovative Computing, Information and Control, 10(4), 1247-1265

### 2) 学会・研究会・講演等

- 越智 敏夫(国際学部 国際文化学科・教授)  
・(2014年7月5日)「政治理論における＜有効性＞：高島通敏と戦後日本」立教政治研究会、市民政治研究会(立教大学)
- 谷本 和明(情報文化学科 情報システム学科・教授)  
・(2014年2月18日)「新潟県における海洋実証フィールドについて」OEA(日本海洋エネルギー研究会)(東京大学駒場キャンパス)
- 神長 英輔(国際学部 国際文化学科・准教授)  
・(2014年7月12日)「尼港事件と北サハリン・アムール川下流域の漁業」科学研究費補助金

# 開学20周年記念支援事業「つなぐプロジェクト」

## 被災地でボランティア活動続ける

### 宮城・南三陸町で牡蠣の殻磨きに汗



国際文化学科1年 大川 竜矢

学生主体の企画「つなぐプロジェクト」東日本大震災被災地と新潟とのかけしを目指して「が、開学20周年記念の支援事業の一つとして採択され、今年4月から活動を開始しています。6月7・8日には、福島県南相馬市および宮城県山元町の2コースに分かれて、28人の学生がボランティア活動を行いました。また7月22日には本学で講演

会を開催し、南三陸町被害ボランティアセンター事務局長の猪又隆弘氏を講師にお迎えし「震災後3年間の経過と現在—今、被災地で求められているもの」と題しお話ししていただきました。2回目の被災地ボランティアツアーは、8月20・22日に実施されました。私はツアーのリーダーとして、他の11人の学生とともに宮

城県南三陸町でボランティア活動を経験してきました。南三陸町では21日の午前9時から午後3時半の間、志津川漁港にある南三陸漁業生産組合かき加工処理施設で、牡蠣の殻磨きを行いました。殻磨きは、一貝ずつ殻についた貝や海藻を取り除くもので、多くの時間と人手が必要とされる大変な作業だと実感しました。

組合の方からは、「ボランティアの方々への支援に本当に感謝している。これからぜひ継続してほしい」との声をいただきました。今回、私たちは南三陸町の早期復興を願い、一致団結して活動しましたが、現地での活動だけでなく、普段、新潟にいる私たちが被災地復興のために何ができるのか、ということを考えていかなければならないと強く感じた3日間でした。

## 新任教員紹介



ふじもと なおき  
**藤本 直生** 国際学部 国際文化学科 准教授

- 担当科目** 英語関連科目、国際研究ゼミナール
- 研究分野** 応用言語学、社会言語学、英語教育
- 略歴** 1991年 長野県立中学校英語教員  
2002年 諏訪東京理科大学共通教育センター 非常勤講師  
信州豊南短期大学言語コミュニケーション学科 非常勤講師  
2009年 新潟県立大学セルフ・アクセス・センター 学習指導員  
2014年4月～9月 新潟県立大学国際地域学部 非常勤講師

## 湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員 西山 茂

山は不動如山（ウゴカザルコトヤマノゴトシ）と例えられる。だからか信仰と結びつくようだ。山岳信仰というし、嫁さんはそのうち「山の神」になる▼少し前に初めて角田山に登った。角田山にある7つの登山道のうち一番楽な五ヶ峠コースで登り、その次に楽な稲島コースで下山した。このときふと思ったのであるが、角田山には神様の気配がないのである。稲島コースの山頂少し手前にお堂があるが、かなり新しいもので、古くからの信仰と結びついていない。この山は昔から鉱物（宝）を産出していたようで、鉱物採取のためにやたら人間が入る山はあまり神様にいてほしくないのだろう。人間の都合で昔、神様を山から追い出したのだと思う。これは理解できる▼翻って角田山である。いろいろ調べてみたのだが、角田山が何かを産出していたというような記録はない（麓が宅地を生み出したそうであるが）。とすると身勝手な人間が神様を追いつくこともなさそうである。つまり、角田山は人間を見守る山でもないし人間に現世利益を与える山でもない。とすると角田山と周辺の人たちの関わりは何だったのだろうか。私の専門ではないが、いつか学生に卒業論文のテーマとして取り上げさせようかと思う。



## zoom ズームアップ 研究室

安藤ゼミでは主にジェンダーという視点から家事労働、育児支援、雇用、ワーク・ライフ・バランスなどについて学び、議論しています。本格的な少子高齢時代を迎えた日本経済にとって、女性の労働参加がより重要視されています。特にもっと働きたいのに働いていない女性に、どうすれば希望する水準で働いてもらえるのか。政府は、地域社会は、家族ではいったい何ができるだろうか。学生にはそんなことを考えてもらいたいと思っています。

私自身は行動経済学の1分野であるアイデンティティ・経済学をフレイムワークに、ジェンダー・アイデンティティとそれに関連する行動規範と、そこからの逸脱が共働き夫婦の家事労働分担にどのような影響を与えるのかについて、主に公益財団法人家計経済研究所のパネルデータや共同研究で得られたアンケート調査の結果を用いて実証的に研究しています。ゼミではなるべくその成果を学生に還元できればと考え

# ジェンダーという視点から経済社会を分析

## ゼミ生の卒業研究テーマ

### 女性の家事労働はなぜ減らなかったのか

4年・小柳 千晶

世界的に働く女性、働く意欲のある女性が増えてきている中で、いまだに日本では「男は仕事、女は家事(家庭)」といった性別役割分業の考えが根強く存在しています。負担を減らすはずの進化した家電製品が多く普及しても、なぜ妻の家事労働は減らなかったのか。家族構成を調べ、子が成長するにつれて増減した家事は何か。ゼミ生の一人ひとりがインタビュー調査を行いました。卒業研究では、さまざまなライフスタイルの存在に着目し、結婚というライフイベントが与える仕事への影響など、今の若年層の結婚に対する意識や「別居婚」に対しての考えをアンケート調査によって研究します。

ています。アイデンティティ・経済学は経済学と社会学と心理学の複合領域的研究ですが、ゼミ生は経済学を体系的に学んでいるわけではなく、社会学の視点からもさまざまなテーマについて研究することになります。卒業論文は経済学というよりは社会学、中でも家族社会学の視点からのオリジナルな論文であることがほとんどです。

特に卒業研究指導で重要視しているのは官公庁のものであれ、学生個人がとったアンケート調査の結果であれ、データから何が読み取れ、そこからどのようなインプリケーションが導かれるかを考えさせることです。また、アンケート調査の際には、その設計を十分に検討させるようにしています。卒業後のさまざまな分野で社会を分析する一つのツールを持ればと考えています。

## 好評だった異文化塾「多文化社会アメリカの現実」



本学と新潟日報社による連携講座「異文化塾」の今期テーマは「多文化社会アメリカの現実」でした。ニューヨーク在住アイティスト、篠原有司男・乃り子夫妻による初回を含め、全5回の講義が好評のうちに終了しました。第4回(8月23日)「銃社会と合衆国憲法」の講師は本学出身の山田啓介さんでした。

山田さんは本学卒業後、慶応義塾大学大学院に進学し、アメリカ政治、特に銃規制の政治的意義について研究しました。その後、新潟日報の記者となり、

## 本学OBの山田啓介さんも講師に

### 銃規制の政治的意義などを解説

現在は村上支局勤務です。今回の講義では研究成果である修士論文の一部がコンパクトに説明されました。アメリカにおける広範な銃所持や民兵組織の存在などは他国の住民からは理解しがたいものです。そうしたアメリカ社会の分かりにくい側面について、その実態の紹介とともに、合衆国憲法との関連やその背景としての植民地形成について解説されました。本学での講義やゼミナールでの思い出なども紹介され、山田さんの関心が本学の学生時代から継続

されていたことがわかります。

日本におけるアメリカ政治研究の世界には少し変わったところがあって、大学の枠を超えて大学院生を共同で指導する傾向があります。山田さんも慶応に籍をおきながら、東京大学の古矢旬先生にも論文指導を受けていました。その古矢先生が担当された9月の最終回「『国民社会』の発展と宗教問題」まで、本当に多くの方に受講していたきました。

(国際学部 国際文化学科

教授 越智 敏夫)

# 今年のテーマは「NO LIMIT ～タノシダモンガチ～」

## 紅翔祭

10/11(土)・12(日)

### 楽しむことを忘れずに!!

紅翔祭実行委員長 情報システム学科2年 新村 蓮

今年もこの季節がやってきました！今回の紅翔祭は多数の模擬店応募があり、さまざまな種類の屋台が目白押しとなっております。ぜひ、いろいろな屋台を楽しんでください！！

また、お菓子が貰えるスタンプラリー、野外音楽ライブなどがあり、こちらも皆さんが楽しめるようなイベントとなっております！他にも本学アカペラサークルと他のアカペラ団体とのコラボもありますので、ぜひこちらにも足を運んでみてください！一同、お待ちしております！

## 文化講演会

### 演題 「変わりゆく社会の中で、 守りたいいのちと心」

法律家の視点から、老後の安心・教育・男女共同参画・エネルギーなど、わかりやすく語ります。

講師 住田 裕子 氏

弁護士

開催日 10月12日(日)

13:30～15:00(開場:13:00)

会場 新潟国際情報大学  
本校体育館

定員 先着600人(無料)

申込方法

#### ①大学事務局での申し込み

直接、大学事務局学務課(新潟市西区みずき野3-1-1)までお越しください。整理券をお渡しします。

#### ②往復はがきでの申し込み

往復はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・聴講人数(上限5人)・学籍番号(本学学生のご父母の方のみご記入ください)をご記入のうえ、下記へ。

申し込み先 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
新潟国際情報大学 文化講演会 係

#### プロフィール

(すみだ ひろこ) 昭和26年6月21日、兵庫県加古川市生まれ。  
東京大学法学部卒業。昭和54年東京地検検事に任官し、以後、大阪等各地の地検検事として転勤を重ね、昭和62年に女性初の法務省民事局付検事として民法・国際私法等の改正を担当。平成2年に全庁女性初の法務大臣秘書官に就任。  
その後、司法研修所教官等を経て、平成8年弁護士登録し、さまざまな公職や獨協大学特任教授などを歴任。現在、NPO長寿安心会の代表として長寿社会の安全安心な社会づくりと東日本大震災の復興支援のために奮闘中。  
「住田裕子の老後安心相談所」「住田裕子の離婚相談所」などの著書・論文多数。

★この講演会は、父母会およびみずき会(同窓会)の共催事業です。  
★個人情報については、入場整理券郵送の目的以外に利用はいたしません。

#### 主なイベント

- 11日(土) ●吹奏楽部コンサート  
●アカペラサークルjoin' & ハモろう亭 合同ライブ  
●中国文化ファッションショー  
●Dancer's Party vol.13  
●演劇部紅翔祭公演 NUIS THEATER!

- 12日(日) ●「Let it go」を5カ国語で歌ってみた

#### 11日(土)・12日(日)

- ROCK IN NUIS Vol.3  
●復興なう  
～写真でつなぐ現地と国情～  
●写真展示  
●サービスエース!  
●MMCの名刺屋さん  
●2度目はないからよく「聴け」  
●NUIS Eco festa season5  
●みずき野西自治会 秋の文化祭
- ワクワク、お面作り!  
●裏千家茶道部茶会  
●紅翔祭茶会  
●ブレイルーム  
●アルビだよ!  
全員集合!  
●クラブ126  
●教職員の写真展  
●模擬店多数出店

### 12日(日) お笑いライブ

(体育館) 開場 10:30  
開演 11:00



#### 大道芸人によるパフォーマンス 音楽ライブ

(特設ステージ・中庭など) (特設ステージ)



※詳細は大学HPをご覧ください。  
※出演者は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

### 11日(土) みずき会(同窓会)イベント もちつき大会

今年も「もちつき大会」を行います。  
ふるってご参加ください!

会場 学生ホール(悪天候の場合:学生食堂「弥彦」)  
時間 11:00～



### 11日(土)・12日(日) 入試相談会



模擬店スペースの一角に特設テントを設けて、  
今年度最後の「個別入試相談会」を開催します。  
推薦・一般入試など、  
どんなことでも気軽に相談ください!